



# 熊本県におけるカンキツ病害虫防除暦作成の考え方

熊本県農業研究センター果樹研究所 <sup>すぎ</sup>杉 <sup>うら</sup>浦 <sup>なお</sup>直 <sup>ゆき</sup>幸\*

## はじめに

現在、熊本県における主なカンキツ類の生産量は、温州ミカンでは90,035 t (全国シェア12%, 全国4位)、不知火類では17,962 t (全国シェア40%, 全国1位)、なつみかんでは6,257 t (全国シェア22%, 全国2位)となっており、主力の温州ミカンを中心に、中晩柑類の生産も盛んな産地が形成されている(うんしゅうみかん; 令和3年産農林水産省果樹生産出荷統計, 不知火類, なつみかん; 令和元年産特産果樹生産動態等調査)。また、温州ミカンにおいては県有成品種によるリレー出荷, 不知火類においては加温, 無加温, 屋根掛け, 露地栽培および長期貯蔵によるリレー出荷がなされ, 長期間にわたるカンキツ類の出荷・販売体制が整えられている。

それら多様な品種構成, 栽培形態に応じて, カンキツ病害虫の発生状況もそれぞれに異なり, それらに対応したきめ細かな防除対策が必要となっている。他県同様, 熊本県においても関係指導機関が参集されて「病害虫防除指針」が作成されている。詳細は後述するが, その防除指針には, 「農薬安全使用と病害虫・雑草防除の基本方針」が掲載されており, その考え方に沿う形で, 後述する「果樹対策指針」の防除暦の作成が検討されている。

本稿では, 熊本県果樹生産振興対策本部が発行する「果樹対策指針(2023年 温州ミカン病害虫防除暦)」を事例に, カンキツ病害虫の防除暦作成の考え方について述べる。

## I 熊本県病害虫・雑草防除指針と果樹対策指針

金崎(2022)で紹介されている「愛媛県農産物病害虫等防除指針(令和4年)」のように, 熊本県においても, 県内植物防疫の主要関係指導機関(県行政・研究機関, 熊本経済連, 農業卸商等)が参集され, 「熊本県病害虫・雑草防除指針〈令和5年度(2023年度)版〉」(電子版)

が発行されており, 熊本県HPに掲載されている。この指針では, 環境保全に配慮した防除の推進を図るため, 「病害虫の防除」という項目で, 作物別に「発生生態」「化学薬剤以外の防除」「薬剤防除のポイント」が紹介されている。さらに, 「IPMの推進」の項目では, 実践指標として「温州みかん」などが作物別に記載されている。

また, この指針に掲載される農薬は, 県内での試験成績や試験研究機関等の公的機関による試験成績によって, 防除効果, 薬害, 安全性および地域性等が確認され, 本県への適用性が認められるものが選定されている。さらに, 採用された農薬は, 外部リンク上に掲載されている「熊本県病害虫・雑草防除指針農薬検索システム」で検索できる。前述の病害虫防除の項目については, 作物別, 病害虫別に解説がなされ, 例えば, カンキツでは41項目の病害虫が挙げられている。このような構成上, 熊本県病害虫・雑草防除指針には「防除暦」として集約された一覧表は現在掲載されていない。

一方, 県内果樹の主要関係指導機関(県行政・研究機関, 熊本果実連, 熊本経済連等)で構成される熊本県果樹生産振興対策本部では, 果樹対策指針(冊子版)を毎年1月下旬頃に発行し, 現場の果樹指導機関に配布している。この冊子では, 果樹生産の基本的な考え方, カンキツ・ビワ・落葉果樹の技術対策, 施肥基準, 病害虫防除暦, 除草剤・植物成長調整剤使用の手引き等が掲載されている。病害虫防除暦については, 上記の技術対策の一部分として, カンキツ類では3種類(温州ミカン, 不知火, なつみかん), ビワで1種類, 落葉果樹では8種類が掲載されている。防除暦の内容の詳細は後述するものの, その構成については, 他県の防除暦と同様に, 使用時期, 対象病害虫名, 薬剤名, および, 注意事項(補足事項)等で構成される。また, ここで選択されている薬剤は, 上記の病害虫・雑草防除指針で採用された薬剤が原則掲載される。

さらに, この防除暦を参考に, 地域農協や生産部会などが地域に適合した防除暦を個別に作成する。

The Concept Constructing Citrus Pest Control Calendar in Kumamoto Prefecture. By Naoyuki SUGIURA

(キーワード: 熊本県, カンキツ, 病害虫, 防除, 防除暦)

\*現所属: 熊本県農業研究センター生産環境研究所